

建築用板金バラ図生成ソフト

Ver1.0, Ver2.0操作マニュアル

本ソフトウェアを使用する際の注意事項をお読みください。

注意事項

- 必要としない平面図、矩形図（立面図と同枠内に書いてある場合）は赤色（色番号1番）に変えてください。
- バラ図を作成する図形は一本の線であるかを確認してください。
- 線が途中で繋いでいる場合は、一本の線に修正してください。
- 線が重なり合っていないか確認してください。
- 図面データを開く場合、本ソフトの閲覧より開いてください。

以上のような条件が必要となります。条件が整っていない場合はバラ図に間違いが生じる可能性がありますのでご注意ください。

すべての窓枠に「キャンセル」ボタンがありますが、クリックしますと操作設定が中止となります。最初から設定のやり直しとなりますのでご注意ください。
作業を中止する時にキャンセルボタンを押してください。

作図尺度は1/5、1/10、1/20、1/30、1/40で自動作図されます。小さいパネルの場合、寸法数字が重なり合いますので修正が必要となります。パネルの大きさによって、適切な尺度に自動で設定されます。（笠木の作図尺度は、すべて1/10です）

<基本設定> マニュアル書 P6

名称記入の設定

各名称を記入しますとバラ図の図枠内に記入されます。
文字数が多い場合、文字が枠から出てしまいますのでバラ図作図後に調整してください。

<フランジ寸法の基本設定> マニュアル書 P11

基本四方向のフランジ寸法を設定します。（3番設定）
取付け順に合わせて四ヶ所の寸法を設定してください。

注意事項

- ここでの設定は垂直方向と水平方向のみ対応しています。
斜め目地やR目地は次の項目で設定します。

<フランジ寸法の基本以外の設定> マニュアル書 P12

フランジ寸法が基本設定と違う場合の設定（129・130・131番設定）
斜め目地やR目地もここで設定します。

<目地カットの寸法設定> マニュアル書 P9~10

「カットする」を押すと設定画面が表示されます。

目地幅を設定し、OKを押した後に図形の線をクリックしてください。

クリックした線と同じ色の線のみカットされます。

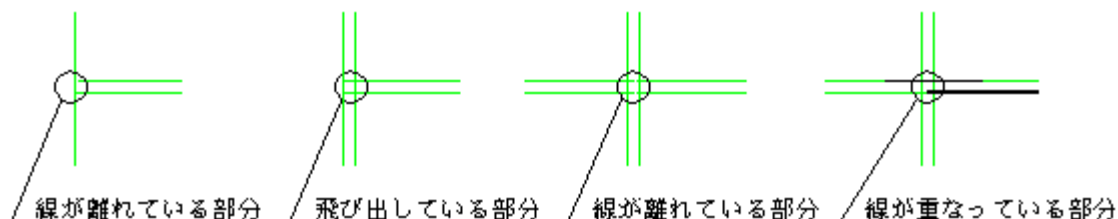
目地カットの幅の認識方法は次のようになっています。



目地部分の線の長さで認識していますこの場合、目地幅は15ですが線の長さが17.32有るので設定をそれ以上の数字にする必要が有ります。

注意事項

- カットした後、図形を一度確認してください。
- 目地幅とまったく同じ寸法で設定すると、線が切れない場合があります。数字を少し大きく設定してください。
- OKを押した後、必ず図形の線をクリックしてください。図形をクリックするまで効果が現れません。また、このとき図形をクリックするまえに「カットする」のボタンを押さないでください。
- 下図の場合、目地がカットされませんので注意してください。



目地がRの場合カットされない場合があります。

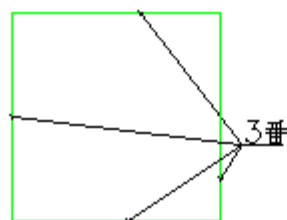
目地幅が2mm以下の場合カットされません。

<平パネル>

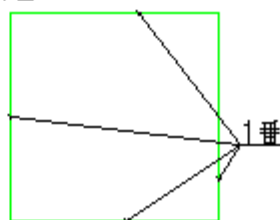
平パネルは緑線（色番3番）に設定してください。

立面図の中で必要としない立面を赤線（色番1番）に設定してください。

<平パネル>



<保留パネル>

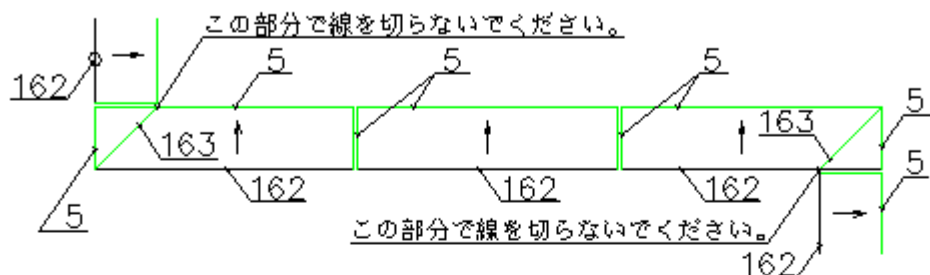


< 笠木 色設定 > マニュアル書 P15

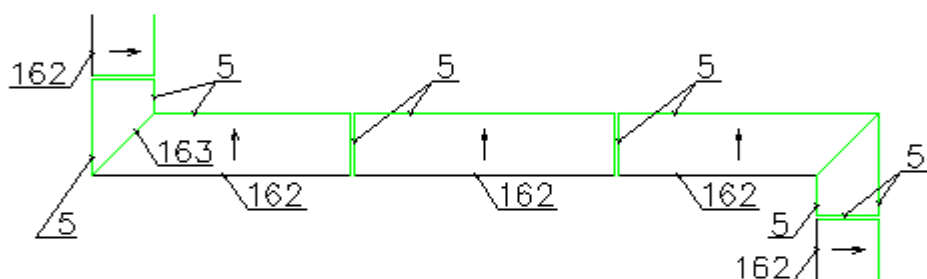
棒型・アーチ型以外は平面図で設定します。

立面図の笠木は赤色に設定し、認識しないようにしてください。

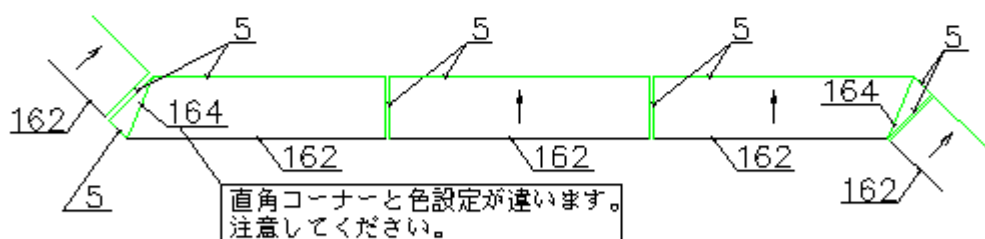
直角コーナー・直線部



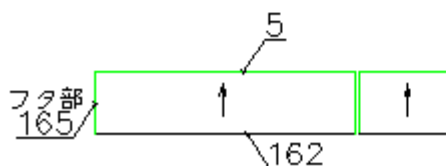
直角コーナー (L型)



直角以外のコーナー



フタ設定

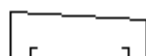


注意事項

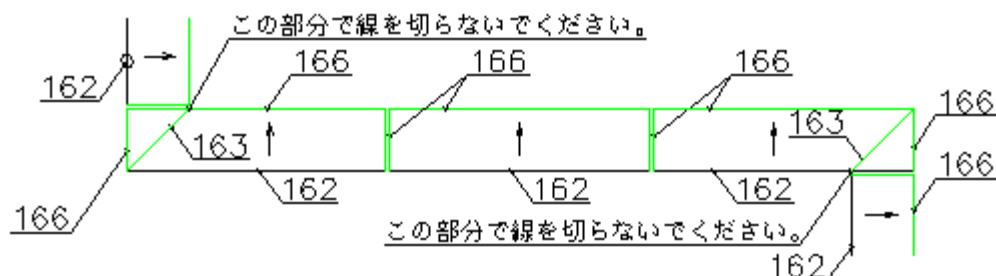
- 水上の162番設定は長辺方向の1本のみです。短辺方向は水下と同じ色に設定してください。
- フタの設定をするときは、外部側と内部側の目地が同じレベルになるように設定してください。
- 笠木の幅設定を図形と同じ寸法にしてください。

<特殊笠木 色設定> マニュアル書 P16

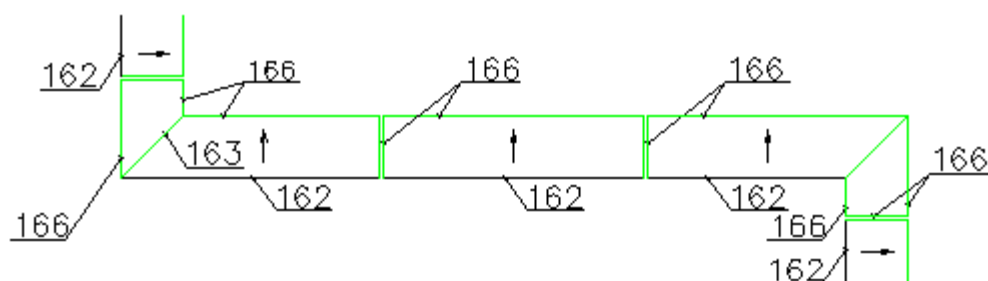
設定方法は基本的に一般笠木と同じです。



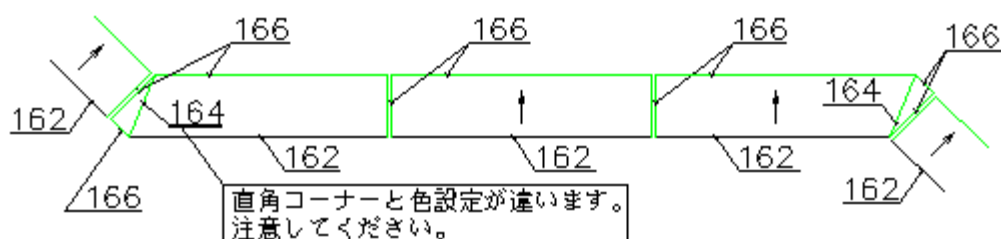
直角コーナー・直線部



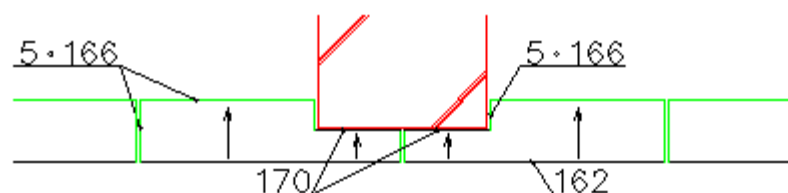
直角コーナー (L型)



直角以外のコーナー

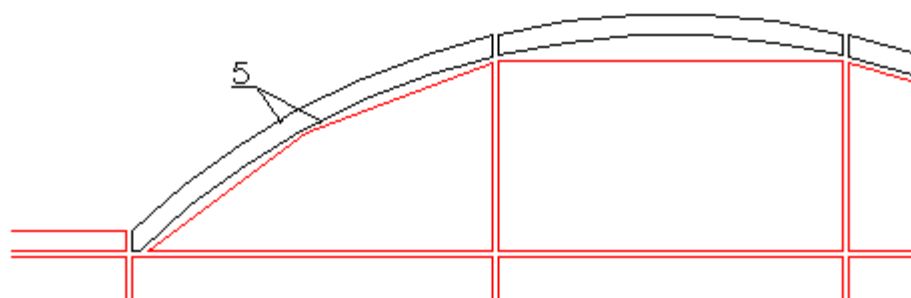
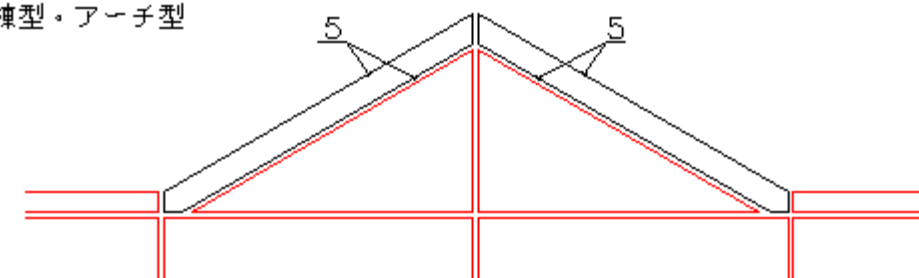


柱廻り欠き込み・直線部



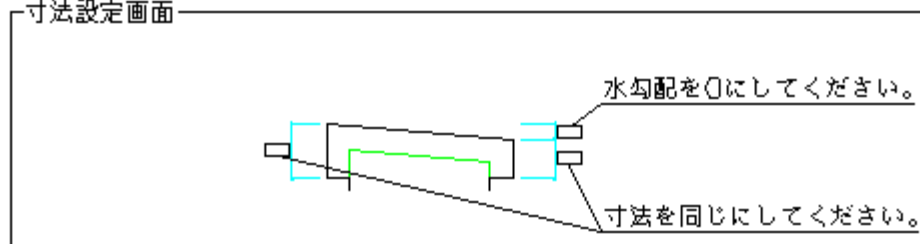
< 笠木 色設定 > マニュアル書 P15~16

棟型・アーチ型



棟型・アーチ型は立面図で設定します。
笠木部分をすべて5番(160番,161番)に設定してください。

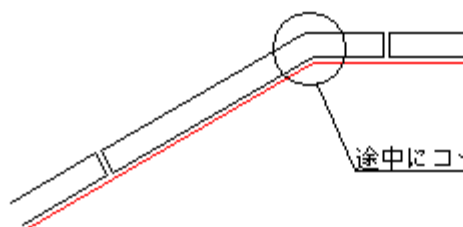
寸法設定画面



注意事項

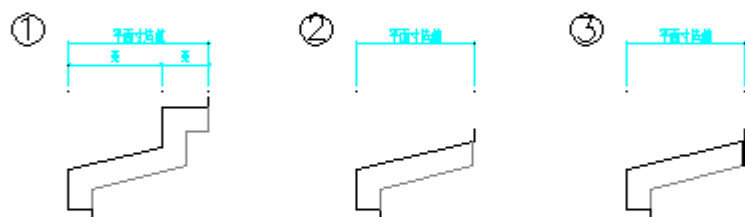
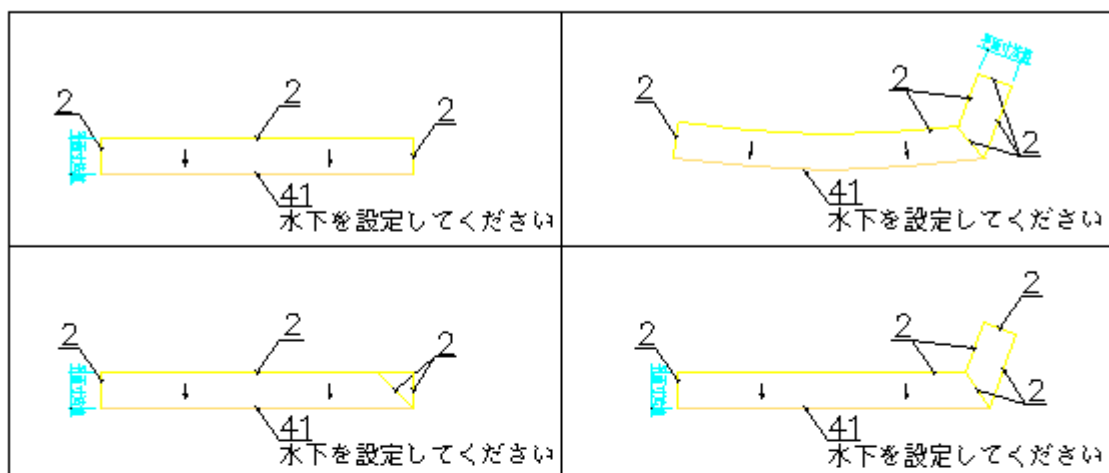
○棟型・アーチ型は下記の条件の場合、正しく作図されません。

- 1 水勾配が付いているとき
- 2 外部側と内部側の見付寸法が違うとき
- 3 途中にコーナーがあるとき(下図参照)

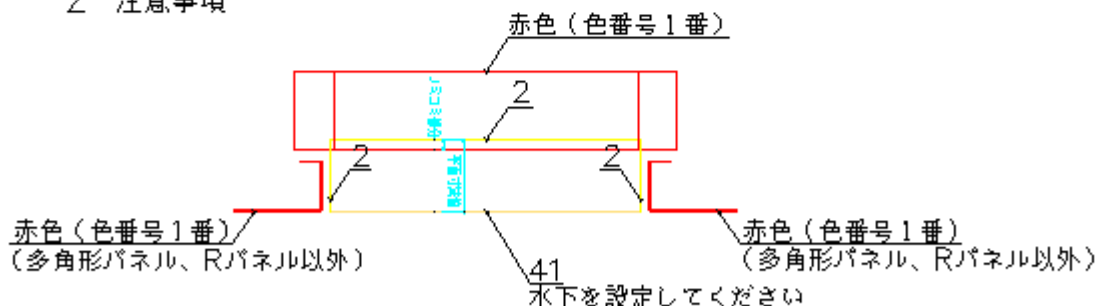


途中にコーナーがあるときは、作図できません。

1 平面図で作図の設定をおこなってください

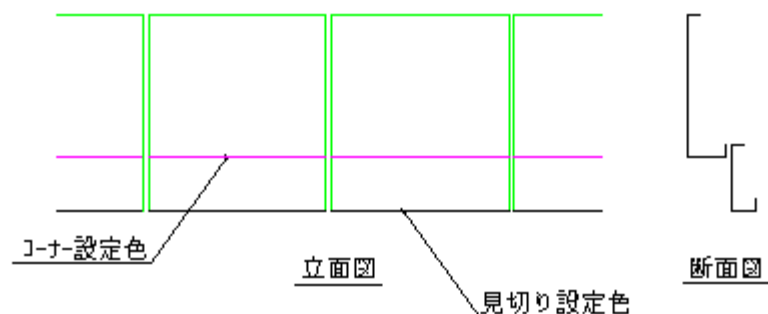


2 注意事項

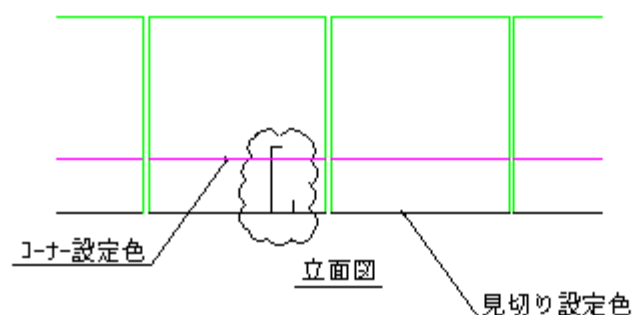


・設定において水切りのノミコミ部も実線にしてください。

- 1 立面において天井側に目地がある場合、見切りの設定を使用します。

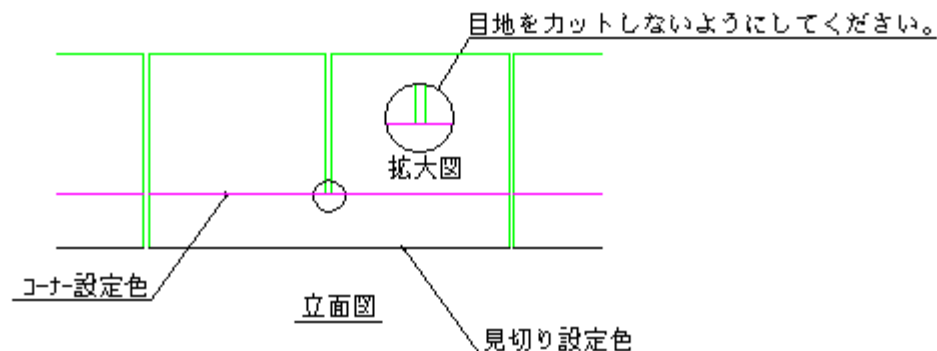


- 2 立面図上に見切り部分の断面を一つ記入してください。



以上のように設定して頂ければ天井目地がある場合において対応可能です。

- 3 巻く板と見切りの目地が揃っていない場合



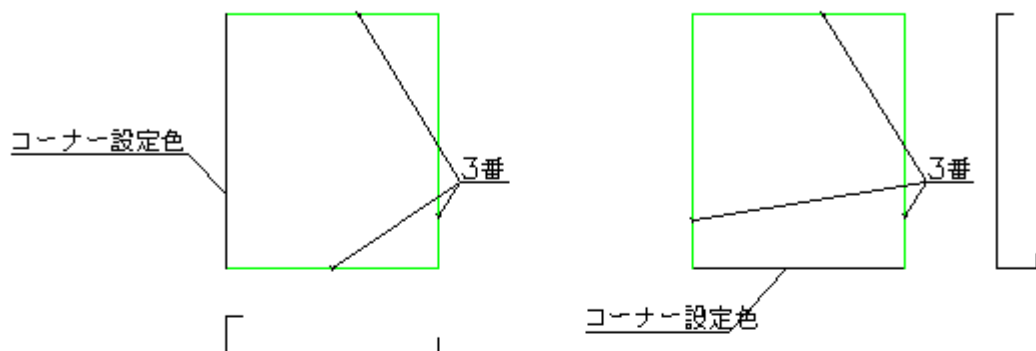
注意事項

- のみこんでいるパネルの線を正確に書いてください。(パネルPHに影響してきます。)
- Rパネル、多角形パネルの断面を白で書くことで対応できます。
- 平ピース取付のパネルの曲げフランジを書き忘れないようにしてください。

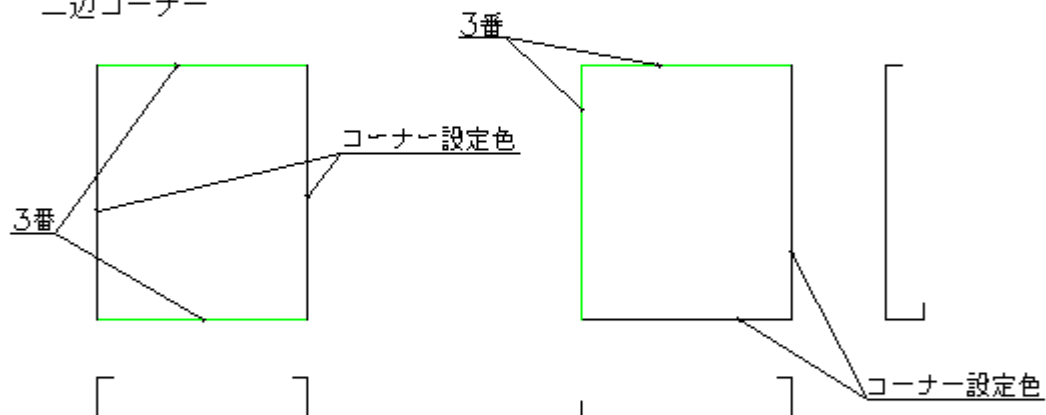
<コーナーの設定> マニュアル書 P27~31

コーナー部の線を各コーナーに対応した色に設定します。

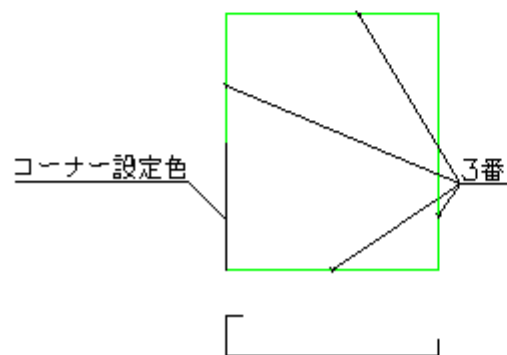
一般コーナー



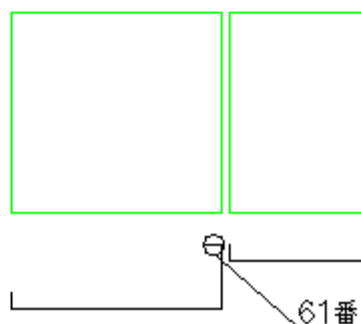
二辺コーナー



途中からコーナーの場合



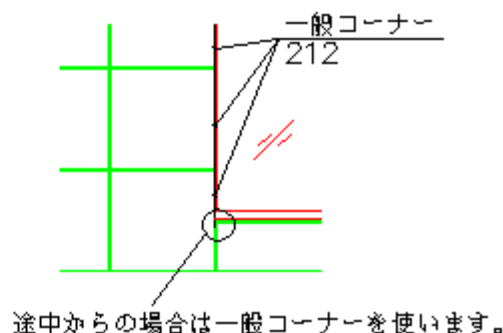
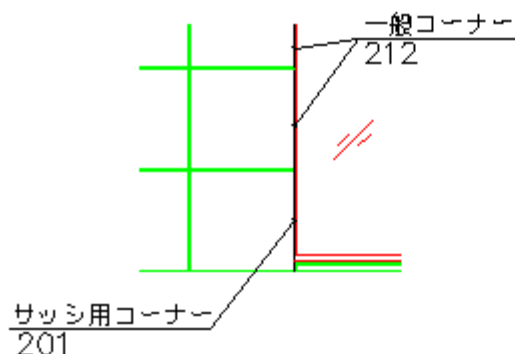
平ピースがある場合
下に断面を書き、平ピース部を
61番に設定してください。



< コーナーの設定 > マニュアル書 P27~31

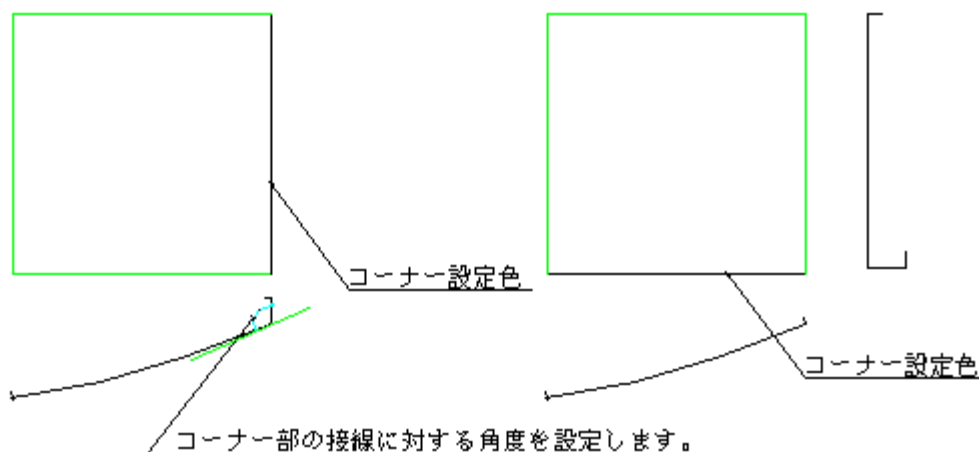
サッシ部コーナーの設定

サッシ用コーナーは水切り取合い部のみ設定してください。

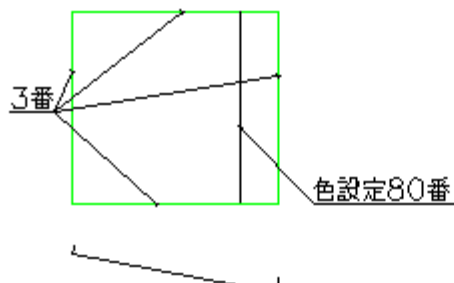


Rパネル・斜パネルのコーナー

下に断面を書き、立面図のコーナー部の色を設定します。



立面図に二つの面が見える場合に断面を書き、コーナー部を80番に設定します。

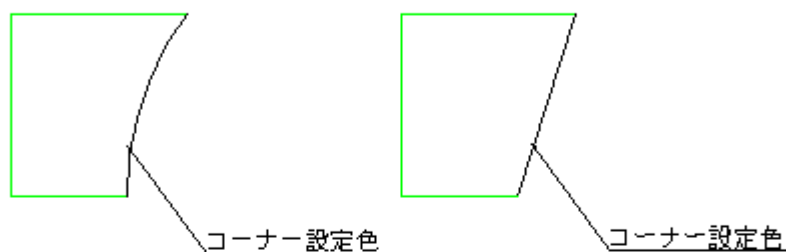


<コーナーの設定> マニュアル書 P27~31

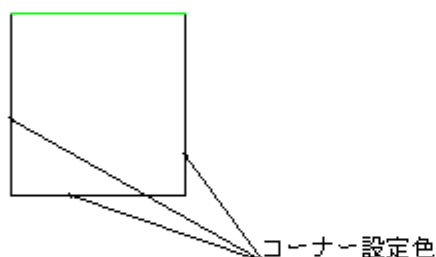
注意事項

- 各コーナーの設定は3種類できます。(例 212・213・214)
3種類以上ある場合は図面を分けてください。
- コーナーの側面側に欠込みがある場合、バラ図を作図した後に図形を修正してください。
- 設定によって完全には作図できない場合があります。(下図参照)
バラ図を作図した後に図形を修正してください。

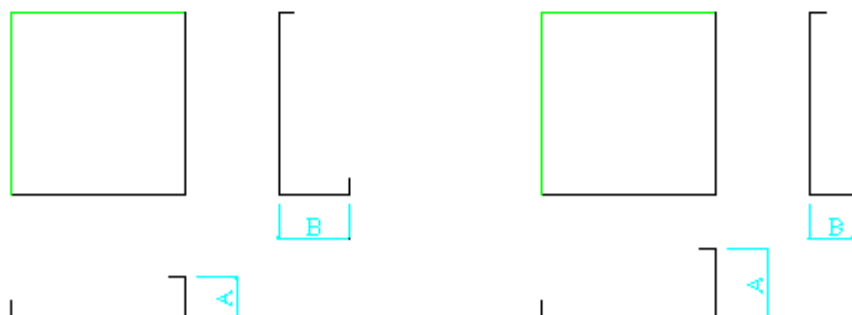
コーナーがR・斜めの場合



三辺がコーナーの場合



二辺がコーナーの時、横のコーナーより下のコーナーの幅が大きい場合。



AよりBが大きいときは作図できません。

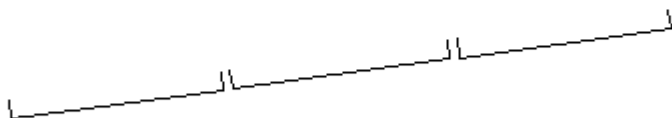
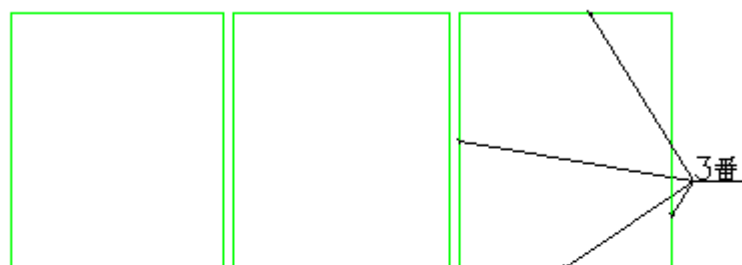
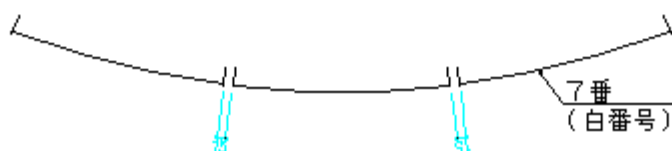
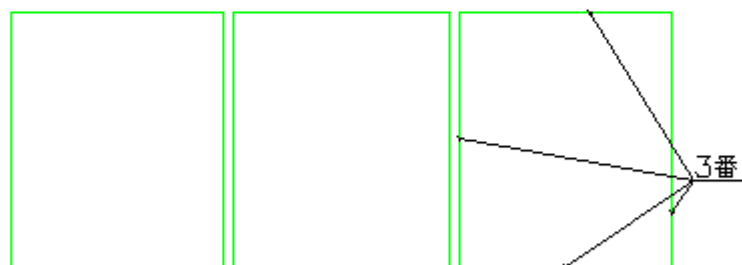
AがBより大きいときは作図できます。

< Rパネル・斜部パネル設定 > マニュアル書 P25~26

Rパネル・斜部パネルの立面図はどのような位置から書いても、実寸法で書けない為断面図が必要となります。

断面は、白線（色番号7番）に設定し立面図の下に書いてください。
図面枠外でも問題ありません。

穴あけ、カキコミは正確に作図できませんのでご注意ください。



注意事項

- パネルの断面と立面の端部がズレているとパネルとして認識しません。
- 断面のフランジ長さは、断面より認識しますので、断面は正確に書いてください。
- 縦断面がRまたは斜めの場合図形を横向きにし、下に断面を作図してください。
断面は、下に書いてあるものしか認識しません。

<天井パネル設定> マニュアル書 P32

平パネルの場合

コーナーがなく、平パネルだけの場合は伏図で設定します。
パネルの線を255番に設定してください。
フランジ長さは、緑色と同じ設定になります。

平パネル以外のパネルがある場合

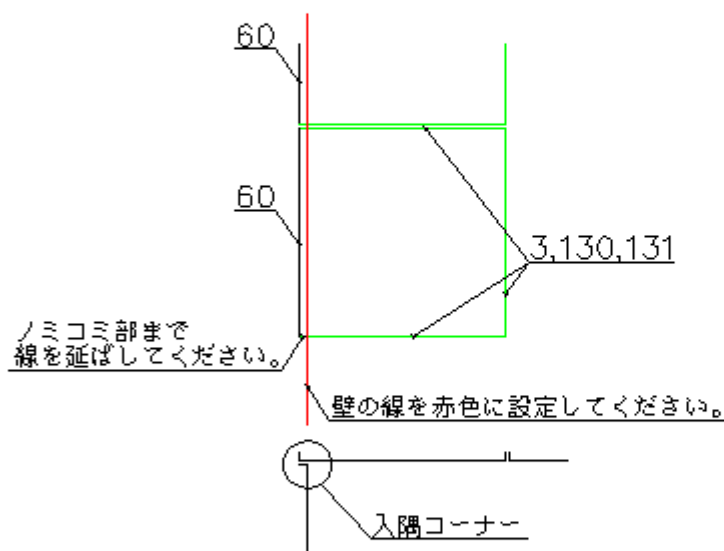
コーナーやR目地など変わった納まりがある場合は、見上げ図を作図して設定します。
見上げ図を作図後、一般パネルと同じ設定をしてください。
(伏図を反転させて見上げ図にしてください。)

注意事項

○見上げ図で設定する場合、255番は使いません。
立面図と同じ3番で設定してください。

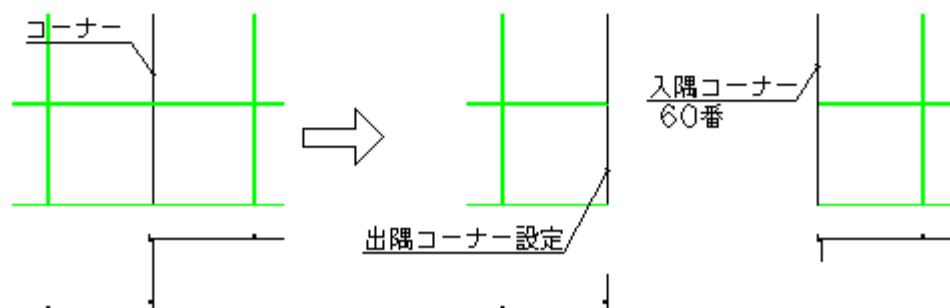
<入隅コーナーの設定> マニュアル書 P33

入隅部やノミコミ部など平ピースを使う部分は、パネルの線を60番に設定してください。



注意事項

○手前側にパネルがある場合、図面を分けて設定してください。



<ツノ設定> マニュアル書 P34

ツノの長さは一種類しか設定できません。
複数種類がある場合はバラ図作図後に長さを修正してください。

<穴あけの設定> マニュアル書 P34

穴の形状を立面図に記入してください。
笠木・斜めパネル・Rパネルの穴あけの設定はできません。

<作図>

実行する前の確認

- 図面の設定が完了したら図面を一度保存してください。
エラーや設定ミスがあった場合、保存した図面を使えます。
- 図面の設定もれ、設定間違いがないか確認してください。

実行中の注意点

- 実行中はキーボード、マウス等の操作をしないでください。
誤動作の原因になります。
- 状況によって処理に時間がかかる場合があります。
またエラーになってしまう場合もあります。
 - ・図形が複雑な場合、数量が多い場合（特に笠木は処理に時間がかかります。）
図面を複数回に分けて実行してください。
 - ・設定間違い、線が重なっている等の図面に問題がある場合
図面に間違いが無いが再確認してください。
 - ・原因が分からない場合
図形の設定に問題がある場合があります。
必要な図形だけを新しいファイルにコピーして、実行してください。

作図完了後の注意点

- 図面に合番が入らない部分がある、余計な合番が入ってしまう場合。
 - ・図形の線が離れている、線が重なっている、目地間の線が
切れていない等の原因があります。
合番が入らない場所の線を確認してください。
- 作図されたバラ図が違う、表示がおかしい場合。
 - ・色設定が違うと図形の表示がおかしくなります。
線の色を確認してください。
（特に笠木、水切りは色を間違えやすいので注意してください。）
 - ・本ソフトに対応していない図形は、表示がおかしくなります。
標準外の複雑、特殊な形状は対応していないものがあります。
赤色に設定して認識しないようにしてください。

<その他>

ファイルの印刷・保存について

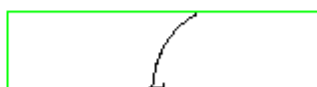
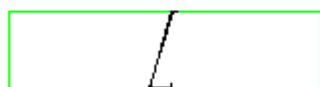
- 一括で印刷・保存する場合、合番図は対応していません。
- 事前に保存する場所にフォルダーを作っておいてください。

ソフトの終了

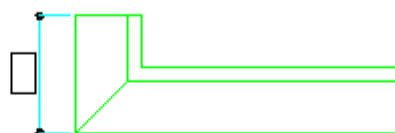
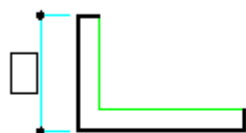
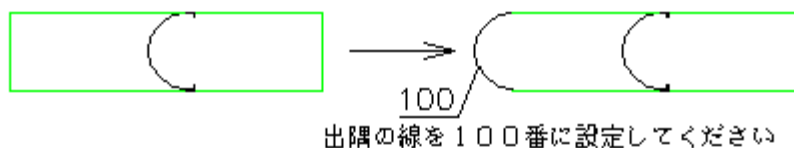
- 画面上にある本ソフトのアイコンを右クリックし、キャンセルを選んでください。
アイコンが消えた後にAutoCADを終了してください。

<全設定以外の項目>

全設定以外では、次のような図形に対応することができます。
下記図以外に関しては、図形を正確に作図することができません。



<出隅設定>



設定寸法はパネルの凸の部分を設定してください。

<平ピース>

設定以外で平ピースを設定したい場合
断面のフランジを61番に設定してください。

